

# 食育のちょっとした話



7月7日は、織姫と彦星のお話が有名ですがそれとは別に七夕にそうめんを食べるようになった伝説のお話があります。

それは、古代中国の王の子どもが7月7日に亡くなり成仏できなかった子どもは一本足の鬼となり熱病を流行らせその霊が人々に病気を流行させました。その病気を防ぐために、その子どもの好きだった策餅さくべいというそうめん供えたところ、鬼は成仏し病が終息したそうです。好物であった素麺の原型と言われる索餅さくへい・さくべいを7月7日に食べるようになったといわれています。



給食担当 佐々木 房子



策餅というおやつです。